



びっきー

第16号

【学校教育目標】

Chance! Challenge! Change!
～「チャンス」をつかみ「挑戦」!
自分をより高く「変革」!～

佐賀商業高校フェンシング部来校

11月9日(金)昼休みに、佐賀商業高等学校のフェンシング部が来校され、フェンシングの概要、ルールについて高校生が紹介に来てくれました。フェンシングは、県内の中学校には種目がない競技で、ぜひ興味を持ってもらおうと来校されました。生徒たちも多く見学に来て、剣を触ったり、突いてみたり興味を示す生徒もいました。



ダンスの授業

教育委員でもある吉丸涼子さんに11月1日～29日の期間、1,2年生にダンスの指導をしていただきました。各学年6時間ずつの指導でしたが、生徒たちは今年大ヒットしたDA PUMPの「U.S.A」のダンスの一部をグループで創作し、練習・発表しました。中にはノリノリで、普段見せない表現力で踊っている生徒もいました。楽しそうに踊っていたのが印象的でした。吉丸さんお忙しい中、ご指導ありがとうございました。



ボランティア活動

11月13日(火)生徒会主催で、ボランティア活動の呼びかけがありました。その呼びかけに応えてくれた生徒が約80名で、肥前山口駅とその周辺の清掃、学校周辺の歩道清掃、パンジーの植付けを行ってくれました。多くの生徒が参加し、一生懸命行ってくれました。

来年度からコミュニティ・スクールが小中学校に導入されます。地域とともにある学校づくりをもっと推進していきたいと思います。



3年生最後の生徒朝会

11月13日(火)は、3年生の生徒会役員による最後の生徒朝会でした。昨年3月に佐賀県の代表数校の1校として、熊本県の国立療養所菊池恵楓園を訪問し、ハンセン病について、また訪問して感じたことを発表してくれました。



<生徒発表より>

これまで私は、「ハンセン病」という病気を知りませんでした。始めてこの病気について知ったとき、私はハンセン病の悲しい歴史に心を打たれました。当時の環境の悪化から発病し、患者たちは厳しい差別を受け、人生の大半を失われたと思うと、すごく心が締め付けられました。長い間、家族と離れ、友達を失い、差別を受け続けた人たちが、辛く苦しかった経験をしっかりと話してくださっている。思い出したくないはずなのに、すべてを言葉にして話してくださいました。私は、姿が今でも忘れられません。患者さんのその勇気と言葉に私たちはどのように応えられるか！私はそう考えました。「ハンセン病患者の願い」それは、もう二度とハンセン病のような悲しい歴史を生み出してはならないということだと思います。その願いに応えられるよう、私たちは今の社会を守っていく必要があります。

今、私たちができること。……それは一番そばで見守ってくれる家族を大切にすること。どんなときも、毎日をとともに歩んでくれた友達を大切にすること。身近な人と一緒にいられる時間に感謝して、これから過ごすことこそが、私たちが今できることだと思います。ハンセン病患者が隔離され、失われた身近な人たちと過ごす時間が私たちには与えられている。そのことに感謝していこうと思います。

全日本技術・家庭科研究大会

11月21日(水)全日本技術・家庭科研究大会佐賀大会が開催されました。県内で8つの会場で公開授業が行われ、本校も1つの会場で、井上弘康先生が3年1組の学級で授業を公開されました。体育館での情報の授業で、生徒も参観者のあまりの多さに緊張していたようですが、しっかりがんばってくれました。



表彰の記録

件名	賞	団体名、氏名
中学生の税についての作文 全国納税貯蓄組合連合並びに国税庁主催	優秀賞	立石 萌々華
平成30年度杵島・武雄地区技術・家庭科作品審査会	特選	小淵 穂乃花、野方 菜央、浪瀬 志恩 大坪 琴音、森園 柚奈、淵上 明生
	入選	松尾 美空、太田 梨心 水田 智晴、川副 遥人
第54回JA共済小・中学生書道コンクール県審査 条幅の部	佳作	池田 愛海
第54回JA共済小・中学生書道コンクール地区審査 条幅の部	入賞	池田 愛海、鳥井あゆ夏、百崎 玲唯名 吉岡 南海、吉岡 栞那、池田 茉桜 百武 菜々花
第54回JA共済小・中学生書道コンクール地区審査 半紙の部	入賞	鳥井 あゆ夏、稲富 文、富永 賢 吉岡 南海、富永 翔
第20回佐賀県西部地区中学生サッカー大会 交流試合	優秀賞	サッカー一部
第1回佐賀県伝承芸能祭(山口地区浦安の舞)	感動賞	百武 心菜、百武 菜々花